養南新聞

発行所
社会医療法人緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

おいでんさい祭開催!!

ビニールをかぶり会場を移動するみかルん
雨にもかかわらず大勢の人が

アメニモマケズ

11月9日(日)第16回おいでんさい祭(馬渕哲哉実行委員長)が養南病院グラウンドにて開催された。3年連続の雨模様となったが患者、家族、スタッフ、地域住民など約800人が訪れ、特設ステージのイベントや模擬店などを楽しんだ。

模擬店の売り上げの一部や、職員が持ち込んだ不用品バザーなどの売り上げなど計15万5750円が東日本大震災義援金に寄付された。

また開院30周年を記念し海津市に寄付された『移動式煮炊き釜』が登場。讃岐うどんに使用され好評を博していた。

ステージ上では鈴木学カルテットがおなじみのジャズナンバーを、また大垣商業高校吹奏楽部がアナと雪の女王などを演奏し訪れた観客の耳を楽しませていた。さらには地元演歌歌手の千原富美子さんが新曲「ふるさと越波(おっぱ)」と楽しいトークを繰り広げ、会場は大いに盛り上がった。

やらせのアンコールに応えみんなで盛り上がる

養南芸能部も初参加

最後にはスタッフによる「みかルんショー」が華やかにステージのラストを飾った。今回ぼりゅ～み～ず新メンバーに抜擢されセンターを務めた看護師の長谷川ひとみさん(46)は「楽しかったー。やみつきになるわ。」と肩で息をしながら興奮気味に語った。

普段は喫茶「ぎんなん」の名物ママ

病院探険隊

「待合室」

今日は外来へ来たような。施設管理課の天野準子さんが案内してくれるような。いつもきれいな花が飾ってありますね。

「外来は病院の『顔』ですからいつもきれいにしておかないと。」

まるで天野さんみたいですね。

「そうですね。他にもカフェテリアや病棟も花で飾ってます。」

否定はしないような。生け花の免状をお持ちとか。確か…でくのぼう…。

「池坊です！若いころの話ですけど。」

今でも十分若々しいような。

「そうですね。家で育てた花も使って季節感を工夫してます。」

否定はしないような。

◆家族教室

11月16日(日)恒例の家族教室が開催された。今月は統合失調症の家族を対象に林昌吾作業療法課長が講演。「よりよい暮らしのために」と題し、リハビリの視点から入院や外来で可能なサポートについて解説した。

「その人らしい生活が送れるよう支援するのがリハビリです」

「もうちょっと華やかな感じでお願いします」

食へのこだわり

「豚汁」

おいでんさい祭の屋台で、給食でも人気のメニュー「豚汁」が無料で振る舞われていた。あいにくの雨天で気温も低かったせいか、来場者の体を芯から温める豚汁は、用意した千食が瞬く間に終了した。

冬の訪れを感じるこのメニューに、たまたま居合わせた関谷院長は「トンジルを食べるとそこは雪国だった。」と体の芯から冷える寒いコメントを寄せた。

左は豚汁統括最高顧問丸山一代

◆12月の家族教室

第一部:「よりよい暮らしのために」
講師:OT林昌吾、PSW菅沼裕貴、管理栄養士丸山一代
第二部:懇談会
日時:12月21日(日)14時～16時
場所:デイケアセンター
対象:気分障害患者様のご家族

タイムマシンに乗って

「創立記念日」

昭和58年11月30日は養南病院の創立記念日だ。今年も記念式典と永年勤続表彰が行われた。写真は30年前の竣工式の様子。中央丸刈りの美少年は現院長の道晴氏、当時中学2年生だ。「この時、先代のように志を持った医者になりたいと思いました。」とのことだが、30年前の美少年も「最近の悩みは先代のように猫背と白髪が目立ってきたこと。」と言い、ストレッチと白髪隠しに余念がない。

右端が先代理事長。これでも42歳。

デイケア新プログラム続々！

家庭の味を食卓へ「夕食作り」

偏った食生活の改善と料理のスキルアップを目的に始まったこの企画。講師を務めるのは主婦歴十年のベテラン看護師たち。この日の担当は北病棟の久留宮由美子さん。冷蔵庫の材料を見て牛肉とゴボウの炊き込みご飯とふろふき大根と金平を皆で作った。「孫十人の弁当作ってたんだもの。軽いもんだわよ。」と久留宮さんは話す。このプログラムは毎週(火)(金)(土)に実施。米一合とエプロンを持参すれば誰でも参加できる。

おかず同様、いい味だしてる久留宮さん

ポイント貯めて健康をゲット

11月から、『らくらくポイント健康コース』がスタートした。「運動・健康」をキーワードにエクササイズやスポーツ等のプログラムに参加して半年間で80ポイントゲットを目指しつつ健康もゲットしようというプログラムだ。

80ポイントへの道は遠い？

担当の夏目靖子作業療法士は「運動系のプログラムで重要なのは継続する事。楽しみながら無理のないペースでの健康作りをしてほしい。」と話す。地道に80ポイントゲットした暁に何がもらえるかはお楽しみだ。

興奮する大橋課長を制す看護師

◆勉強会①

「CVPPP」

11月10日(月)CVPP(包括的暴力防止プログラム)の「実践編」が行われた。

研修を受けた佐名秀人係長が、興奮の強い患者さんと対峙した際いかに安全に対処するかを実際の動きを交え解説した。

羅笑門

やぁ諸君！シャア・アズナブルだ。今回はラファ少尉の報告書を紹介する。デイケア勤務の山田ひとみさん(24)入隊して間もない頃からの友人だそうだ。

ラ　あの～よろしくお願いします。仕事はどうですか？

A　仲良くやらせてもらってます。

ラ　趣味や特技は何かありますか？

A　う～ん読書かな・・。ミステリーや恋愛系ですかね～。漫画の「ひるなかの流星」はいいです。もう燃えますよ絶対！

シ　―近頃、地球では“壁ドン”というものが流行っていると聞くからな・・―

A　特技は、一応習字を10年位やってて、特待生なんです。他は・・剣道を3年間、最近ではマラソンを・・

ラ　凄いですね！絶対大佐も気に入りますよ！最後に抱負を！

A　コミュニケーション能力の向上と頼りになるナースになることです。

シ　―またひとり、ニュータイプの可能性を見つけた恰好だな・・―

ルンルンみかルん #7

私の自慢

栄養課の水谷慎輔係長は家事と育児を行うお父さん、いわゆる「イクメン」だ。保育園への送り迎えは当たり前、調理師という仕事柄、夕食作りはお手の物だ。「仕事を理由に家庭を大切にしないのは男じゃありません。」と熱く語る。遠足には流行の「キャラ弁」を作って子どもを喜ばせているとのこと。しかし、これらは全て本人の話で「そんなキャラだったか？」と疑問の声も。

これは証拠です

リハビリの小窓

「音楽大学」

このプログラムは「おんがくだいがく」ではなく、「おんらくだいがく」と読む。講師は音楽療法士の日比祐子先生。音と共に声や体を使って楽しむこの時間、人気プログラムだけにホールは常に超満員。音を利用し自然に動きや表情を引き出していく日比先生の柔らかな笑顔が印象的だ。

この笑顔と心地よい音楽に癒される

◆勉強会②

11月17日(月)「ノロウイルスの感染症対策」の研修会が開催された。講師をつとめた吉野久美子看護部長は「ノロウイルスはこれからが発症のピーク。とにかく予防の基本をスタッフ一人一人がしっかり身につけることが重要。」と話した。

「予防を徹底すればノロなんか怖くありませんがね」

◆みかルん海津産業祭へ

11月2日(日)海津市の産業感謝祭にみかルんがおいでんさい祭の特任宣伝部長として出張した。しかし思ったほどブースに人は集まらず、配布できたチラシはわずか4枚。「お役に立てなかったような。」としょげるみかルんに「知名度ゼロではなんともなりません。」と同行した澤田真名美マネージャーはバッサリ切り捨てた。

自ら子供に近寄り嫌がられるみかルん